

700-ES シリーズ/VISTA シリーズの停止と起動方法

ご不明な点は、カスタマコンタクトセンタまで(電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

 **0120-477-111**

 **0120-565-154**

E-mail: email_japan@agilent.com

<http://www.agilent.com/chem/jp>

一定期間、装置の電源をお切りになるお客様へ



【対象装置】

730-ES / 735-ES / 720-ES / 725-ES / 710-ES / 715-ES

VISTA-PRO-AX / VISTA-PRO-RL / VISTA-MPX-AX / VISTA-MPX-RL

VISTA-AX / VISTA-RL ※図は 730-ES

700-ES シリーズ/VISTA シリーズの分光器はヒーターパッドで一定の温度に暖められる事で安定しています。そのため主電源は常時オンにして頂いていますが、停電、年末年始の休暇などで、止むを得ず装置の電源を停止頂く場合があります。

本マニュアルでは、装置の停止から起動までの手順をご説明します。

装置の停止方法

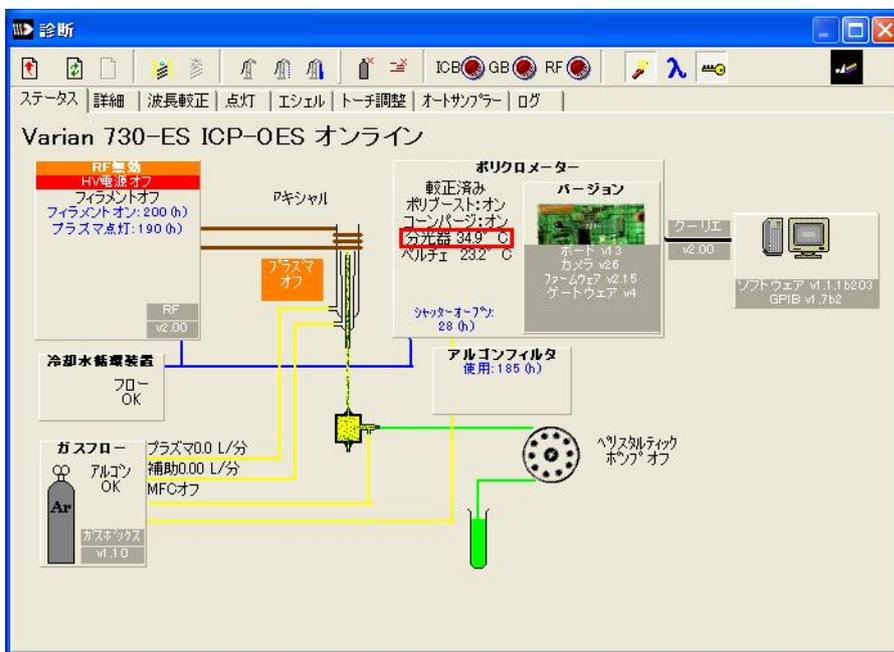
装置正面左下の赤丸印○が主電源スイッチです。1がオン、0がオフの状態です。

ICP Expert (アプリケーションソフトウェア) が終了しているのを確認し、主電源スイッチをオフにします。

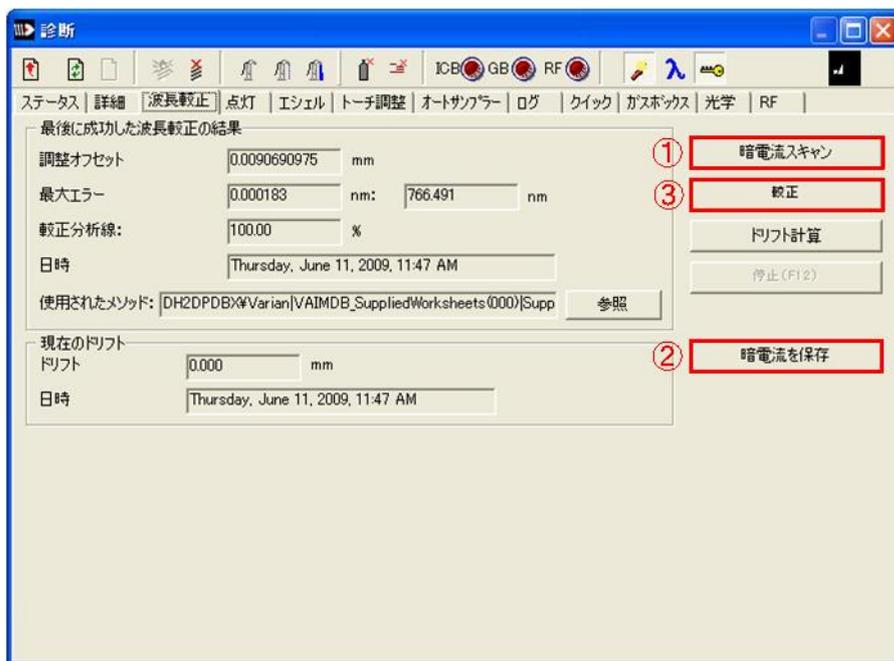
装置の起動方法

主電源スイッチをオンにします。

ICP Expert を起動し、[ステータス]画面を確認します。



□で囲った分光器の温度が約 35°Cに上昇するまで待ちます。数時間かかります。



分光器の温度が 35°Cに到達したら、[波長校正]画面に切り替えます。

図は 730-ES です。710-ES / 715-ES / VISTA-MPX-AX / VISTA-MPX-RL では若干表示が異なりますが、手順は同じです。

純水をセットし、プラズマを点灯します。15 分～30 分程度安定させます。

始めに暗電流スキャンを実行します。

①[暗電流スキャン]ボタンを押します。

しばらく待つと「暗電流測定完了。」と表示されます。OK を押します。



次に②[暗電流を保存]ボタンを押すと、下の画面が開きます。[保存]ボタンを押します。



続いて波長較正を実行します。

純水を ICP-OES 波長キャリブレーション溶液に入れ替えます。

溶液がネブライザに到達するまで待ちます。

③[較正]ボタンを押します。

しばらく待つと「波長較正が完了しました。」と表示されます。OK を押します。

最後に、装置の発光強度を確認します。

Mn5ppm のトーチスキャン、または普段測定されている標準溶液の発光強度を確認します。

装置停止前と同等の強度が出ていれば、分析を開始します。

強度が低い場合、分光器の温度が 35℃に到達した直後のため、まだ安定していない可能性があります。装置を一晩安定（放置）させた後、翌日波長較正の手順から試みます。